

研究概要

ビッグデータによる消費者ニーズの調査等に基づくマーケティング戦略の企画・支援

キーワード ビッグデータ/データサイエンス/マーケティング/消費者ニーズ/地方共創(CSV)

松林研究室では専門分野である経営学・データサイエンスによるマーケティング研究の一環としてビッグデータ(消費者動向調査・POSデータ・メディア報道記事等)を活用した市場調査や消費者ニーズの研究をしています。具体的には無償・有償のビッグデータの統計学的な分析結果に基づいた消費者ニーズやSTP、4P、プロモーションの再定義を行い企業にとって今後取り組むべき最適なマーケティング戦略“顧客の求める物は何か?”“どのように顧客とのコミュニケーションを構築するか?”等の企画・立案・並びに実行支援します。

今後の展開やメッセージ

これまでの経歴・実績を踏まえて地元企業に貢献することはもちろん、加えて地元ベンチャー企業のお役に立てます様な事例や事業戦略の提供、並びに世界規模のネットワークキングをサポートしたいと考えています。

研究者情報



松林 賢司 教授・博士(工学)・MBA
情報フロンティア学部 経営情報学科
所属研究所：地域共創イノベーション研究所

大阪大学工学部応用化学科卒。同大学応用化学専攻博士課程修了。マサチューセッツ工科大学(MIT)スローン経営大学院・清華大学経済管理学院国際MBA修了。三菱商事・化学品グループ入社。三菱商事(上海)有限公司(化工部 副部長)。金海菱加工有限公司(副総経理)。江蘇富菱化工有限公司(副総経理)。三菱商事・事業開発部(マネージャー)。プロトンC60/イフォーム(取締役)。ピタミンC60/バイオリサーチ(株)(社長)。ナノテックビジネス推進協議会(イベントフォーラム委員長)。Booz & Co.(Senior Adviser)。Thomson Reuters(Consultant) 三菱商事・地球環境・インフラ事業グループ(シニアマネージャー)。2013年本学客員教授就任。2014年本学教授就任。

研究者情報URL

<https://researchmap.jp/7000018012>

<https://kitnet.jp/laboratories/labo0106/index.html>



北陸地方で模擬店を出店する場合の市場分析にPOSデータを活用した分析事例